

学習院女子大学モルドバ研修プログラムへの協力（8 月 27 日～30 日）

8 月 27 日～30 日に学習院女子大学中欧国際協力研修プログラムにてモルドバを訪問した学習院女子大学の学生に対して、当会川村理事がモルドバにて研修支援を実施致しました。詳細は下記のとおりです。なお、同大学によるモルドバでの研修は 2011 年より実施されており、本年で 6 年目の研修となりました。

<8 月 27 日>

学生 12 名と引率者の中島崇文教授ご一行が到着し、モルドバ日本文化文明協会ライサ女史と共に、空港でお出迎えをしました。ご一行はホテルで休憩後、ヴァレア・モリロール公園を散策し、のんびりとしたモルドバ市内の雰囲気を感じていただきました。同日は独立記念日であったため、夜には市内中心部の大広場で開催されたイベントに参加されました。大勢の市民が集まっており、大きなスクリーンに映し出された 1991 年の独立当時の映像や生演奏、また花火楽しんでいただきました。

<8 月 28 日>

早朝にホテルを出発し、モルドバジャパンが運営支援をしているカザネシュティ村「子どもデイケアセンター」にお連れしました。子どもたちは毎年同大学学生との交流を心より楽しみにしてくれていて、元気いっぱいにご一行をお出迎えしました。パンと塩でお出迎えするとともに、モルドバのダンスや歌、俳句などを披露してくれました。学生さん方は事前に用意くださったルーマニア語での自己紹介や日本文化についてのプレゼンをしてくださり、子ども達は興味津々に聴き入っていました。子どもたちにご一行が持参してくださった浴衣を着つけると、子どもたちはとても興奮している様子でした。書道、華道、茶道、折り紙、シャボン玉、割り箸鉄砲を体験することができ、とても賑わっていました。別れ際には抱き合って別れを惜しんでいる様子も見られました。

夕方には、共和国宮殿にてモルドバを含む欧州諸国の若い楽団から成るオーケストラによる演奏会を楽しんでいただきました。

<8 月 29 日>

翌日は、ご一行のみで観光を楽しんでいただきました。世界最大の地下貯蔵庫があるとしてギネスブックにも登録されているミレシュティイ・ミチワイナリー、また、モルドバのチョコレートブランド「ブクリア（喜び）」本店などを訪問されたようです。また、夜には、市内のレストランでモルドバの伝統料理を楽しまれたとのことでした。

<8 月 30 日>

お昼頃に市内のモルドバ日本文化文明協会事務所を訪問され、懇談をしました。一番印象に残った訪問場所は、それぞれのようにでしたが、「子どもたちが可愛かった。また会いたい。」との感想も聞かれました。

【モルドバジャパン研修支援担当者感想】

本研修は今年で 6 年目となりますが、子どもと学生さん方との距離が年々近くなり、子どもたちは学生さん方の訪問を心より楽しみにしてくれているように感じます。過去の研修参加者が大学側に提出した研修報告書や感想には、「研修訪問国全 5 か国の中で最も印象に残ったのはモルドバだった。」や「デイケアセンターへの訪問を最も楽しみにしていた。子どもたちが純粋でかわいかった。また訪問することができれば絶対色々なものを持ってきてあげたい。」といった感想もあったようです。また、今回参加された学生さんの中には、このデイケアセンターについて卒論を書くことを考えている方もおられるようで、本研修がモルドバと日本の友好関係を深める機会となっていることを改めて感じることができました。ご多忙の中で本研修を長年実現くださっている中島崇文先生に、この場をもって改めて御礼申し上げます。



モルドバに到着（花束でのお出迎え）



ヴァレア・モリロール公園散策



市内のレストランにて夕食



独立記念日のイベント





子どもデイケアセンターに到着



子どもたちがパンと塩でお出迎え



子どもたちによる学習発表会



子どもたちと一緒に遊戯





集合写真



浴衣の着付け







日本文化のプレゼン



プレゼンに興味津々な子ども達



割り箸鉄砲に夢中な子どもたち



シャボン玉に夢中な子どもたち





一緒に生け花を制作



折り紙の作り方をのぞき込む子ども



オリジナルお習字



抹茶を初試飲





給食を堪能



最後のお別れ





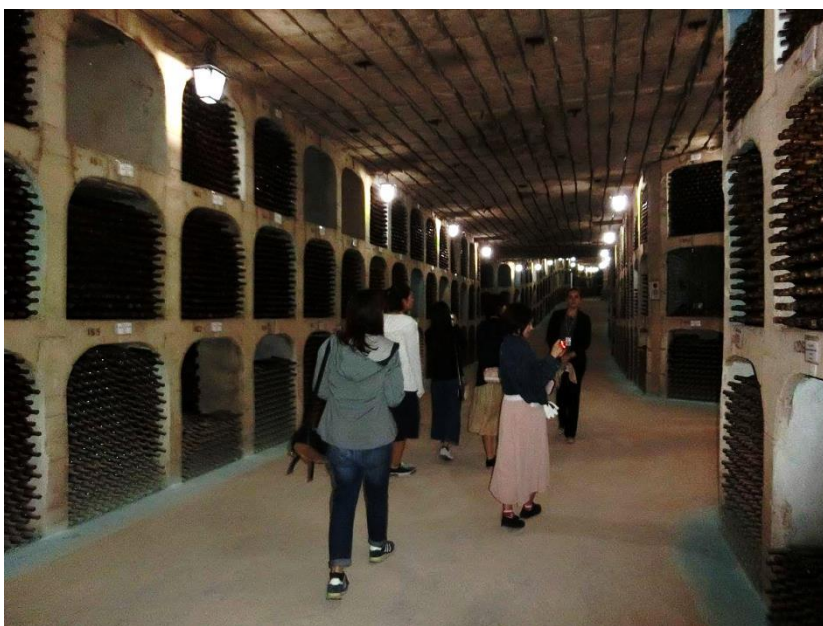


欧州諸国の若い楽団から成る  
オーケストラによる演奏会を鑑賞



チョコレートブランド「ブクリア」を訪問

ミレシュティイ・ミチワイナリーを訪問



(以上)